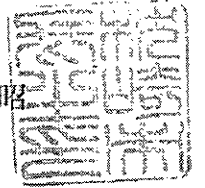


枕建管第 267-2号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 殿

枕崎市長 瀬戸口 嘉 昭



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

平成20年9月19日国道企第37号付けで依頼のあった件について、別紙のとおり回答しますので、よろしくお取り計らいお願いします。

(連絡先) 鹿児島県 枕崎市役所 建設課 管理係(電話：0993-72-1111 内線231・232)

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県 枕崎市

○ 最近の国会審議における道路計画は、費用対効果が前面に打ち出され、地方部における道路の意義が全然考慮されていない状況であり、このままだと地方部が衰退していくのが目に見えていると思われます。地方において、産業の発展には道路は不可欠であるので、地域(地方)を活かす道路政策を強く打ち出して欲しいと思います。

(つい最近までは、高速道路網については、地域の自立と活力の強化にとって重要となる産業の立地、振興や高度医療施設へのアクセス向上等を図るため、基幹ネットワークの整備を推進することが重要であるとの方針が、現在、費用対効果での道路計画を行うように変更になったように感じるところであります。このような方針変換になりますと、地方は益々衰退化の一途をたどるものと思われます。)

○ 国土交通省の方針において「物流活動などの中核となる拠点的な港湾・空港(国土交通省所管)へのアクセス道路の整備」とよく記載されていますが、本市は、特定第3種漁港(日本有数のカツオの水揚げ量や鰹節生産を誇る)、花卉(菊)、お茶、芋焼酎(農林水産業)などで有名であり、このような農林水産物の流通道路も特に重要であることの記載が少ないようです。もう少し、地域の産業・施設にも考慮した道路行政を明確に出して欲しいと思います。

○ 現在、高速道路料金の見直し(値下げ)を行い、利用者に還元しようとしておりますが、本市のような高速道路がないところには何ら恩恵がないのが実情であり、住民感情として、不公平感が否めないところであります。今後、このような地域への施策も考慮して頂くようお願いいたします。

○ 本市においては、財政が特に厳しいことから、補助事業における事業費の一般財源を確保することが難しいところです。このような状況において、自治体独自で利用できる維持管理費にも対応できる事業費補助の配慮をお願いします。

また、自主財源(起債を含む)に乏しいことから、補助事業(まちづくり交付金等)の要望ができない自治体において、高齢化に伴う歩道整備(バリアフリー化等)に対する方策を講じて頂くようお願いいたします。(財源が厳しい自治体に対しては、何ら道路特定財源の配慮がないと思われます。)

②－１ 地域の現状と抱える課題

鹿児島県 枕崎市

○現状

- ・ 「地域の活力あるまちづくり」を推進する上で、住民は地域高規格道路の南薩縦貫道の着工を強く期待しているが、整備区間への指定がいつになるか目処がたっていない。
- ・ 鹿児島市へ幹線道路である国道２２５号の峯尾峠の急カーブの局部改良の早急な整備が必要である。
- ・ 現在、本市は財政が厳しい中、公共工事の事業予算（道路予算）が年々減少してきているのが、実情である。
- ・ 本市の市街地の道路は、主に戦災及び戦前の土地区画整理事業で整備がなされ、また、農村地域とは幹線道路で結ばれているところであるが、昨今、老朽化が進み、また、その維持修繕等については、その場限りでの対応で行っているのが現状である。
また、市街地の歩道の再整備（拡幅）及び農村地域の幹線（二車線）道路において、歩道がない路線が多数あるため、その整備を図らなければならないところである。
- ・ 来年度以降、橋梁の耐震化の調査・工事を行うことになるが、その財源は、どのように確保するか。
- ・ 道路管理において、雑草伐採や側溝清掃など、住民と一体となった（市民協働）管理も構築していく必要があると思われる。

○課題

- ・ 道路の中期計画において、いかに早く整備区間へ指定（格上げ）して頂くか、市政の最重要課題である。
- ・ 現在、調査測量設計を行なっているが、早急な工事着工を強く要望する。（本市にとって、鹿児島市へのアクセス道路として最も重要な幹線道路である。）
- ・ 社会福祉関係予算が増大する中、公共事業費を如何に確保するか。
- ・ 維持修繕費を如何に確保するか。
- ・ 本市の財政が厳しい中、公共事業費確保が大変厳しい。
- ・ 本市の起債率が高い中、補助率の嵩上げを強く要望したい。
- ・ 地域住民に道路愛護について理解及び協力を頂き、市民協働、ボランティア活動の推進を図らなければならないと思う。

②－２ 地域の目指すべき将来像

鹿児島県 枕崎市

※ 第５次(平成18～27年度) 枕崎市総合振興計画より

○ 道路交通ネットワークの整備

[施策の体系]

道路交通ネットワークの整備

- ① 幹線道路の整備
- ② 生活道路の整備と管理の充実

* 交流を広げる道路ネットワークの形成

[基本的方向]

ますます広域化する市民生活に対応するため、広域圏内のアクセス道路や高速道路網の整備など、広域的なネットワークとしての整備を積極的に進める一方、道路交通の円滑化と安全性を図るため、道路の拡幅と改良の推進や、各幹線と結ぶ道路網を整備し、総合的に災害に強い道路網の整備を推進します。

また、市民生活の利便性を向上させるため、計画的に市道の改良や維持管理などを行い、居住環境に適した道路としての機能向上と交通安全対策に努めます。

都市計画道路については、既存の歩道を含め年次的に整備を推進します。

[施策の概要]

① 幹線道路の整備

- 南薩縦貫道の早期整備に向けて要請を強化していくとともに、高速交通体系へのアクセス道路の整備を進めます。
- 幹線道路の改良・維持管理及び年次的な整備に努めます。
- 国道・県道の拡幅・改良の整備促進と交通安全施設の整備を図ります。

② 生活道路の整備と管理の充実

- 市道全線の安全かつ円滑な交通確保及び災害時における道路網の確立を図るため、計画的な拡幅改良、舗装の維持修繕、側溝やがい版の整備、通学路における交通安全施設などの整備を推進します。
- 地域にマッチした歩道(バリアフリー化を含む)などの整備に努めます。
- 地域などにおける道路愛護運動の推進に努めます。

③ 道路施策の重点事項(代表例、期待する効果や評価等)

鹿児島県 枕崎市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 地域高規格道路 南薩縦貫道における早期の整備区間への格上げ	・ 本市は、九州本土の最南端に位置しており陸の孤島と呼ばれる中、特定第3種漁港(平成11年には貿易港として開港)に指定されており、日本有数のカツオの水揚げ量や鰹節生産を誇り、更に花卉(菊)、お茶の産地、芋焼酎の製造として活力あるまちづくりに励んでいるところである。よって、枕崎港に集約される魚介類、南薩摩半島一帯の豊かな農産物・畜産品、焼酎等の低コスト、高速で大量に大都市に供給できるシステムづくりを早急に構築する必要がある、真に地域高規格道路の整備が急務な状況である。開通後は九州縦貫道に直結し、地域振興における最大の起爆剤となると確信しているところである。	
・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ 国道225号(鹿児島市へ)、国道226号(指宿市へ)、国道270号(南さつま市へ)の幹線道路の整備による交通安全対策及び災害道路としての強化	・ 本市は、公共交通(バス等)網が遅れていることから、車に頼らざるを得ない状況であり、また、台風常襲地区でもある。このような状況から、国道の整備(局部改良、冠水地区の解消等)を図り、円滑な交通社会及び災害に強いまちづくりの推進が図られるものである。	
・ 少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・ 本市の市街地の街路は、主に戦災復興土地区画整理事業で整備がなされたため、現在に対応した歩道の再整備の必要	・ 市街地の歩道(市道)は、バリアフリーがなされてなく、また、狭隘なため、再整備が必要な状況である。このような状況から、少子・高齢化に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成を図ることにより、日常生活の安心や安全の確保するものである。 なお、本市は、現在、厳しい財政であるため、事業費を如何に確保するかが課題である。	